

令和7年度 堀江保育園自己評価集計結果

評価基準 A:達成できている B:ほぼできている C:検討・改善が必要 (令和 8年 2月 16人実施)

項目	内 容		総合 結果	評価			改善案
				A	B	C	
保育 理念	1	保育理念を年度初めに職員で確認している。	A	9	6	1	職員会などで周知され れているのか分からないが パートには周知されてい ない。 ⇒職員で共有する内 容は、朝礼・回覧・ル クミー等で全職員に周 知している。個々が確 実に目を通すことと、 クラス内での伝達等を 徹底していく。
	2	職員や保護者の見やすい場所に掲示している。	A	14	2	0	
	3	保護者に配布物を通して、保育理念や保育方針を周知している。	A	11	5	0	
保育 目標	1	保育目標は、保育園や地域の特色を生かしている。	A	13	3	0	保育目標は分かっている が全職員での検討また は共通理解を量っている かわからない。 ⇒年度末の反省は各ク ラスから出し合い次年度 に繋げている。全職員が 一同に集まって検討する のは難しい為、クラス・チ ーム等で意見を出したもの を、リーダーが持ち寄り 検討している。
	2	保育目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。	B	5	10	1	
指導 計画	1	各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画になっている。	A	10	6	0	
	2	環境構成や素材・用具を適切にいかした保育計画になっている。	A	9	7	0	
	3	保育園生活における子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。	A	10	6	0	
保育 内容	1	子ども一人ひとりへの理解を受容しようと努めている。	A	11	5	0	
	2	子どもの基本的な生活習慣が身に付くように積極的に活動できるよう、環境が整備されている。	A	11	5	0	
	3	様々な表現活動が体験できるよう配慮している。	B	10	6	0	
	4	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	A	10	6	0	
	5	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	A	13	3	0	
保育 ・ 行事	1	一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい。	A	14	2	0	
	2	行事の種類や実施計画は適切である。	A	13	3	0	
	3	計画・実施・評価・改善の体制がとられている。	A	13	3	0	
	4	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	7	9	0	
健康 管理	1	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為、「園だより」「保健だより」などで情報を保護者に提供している。	A	16	0	0	
	2	乳幼児の安全確保のために家庭、地域社会、関係機関と連携を図っている。	A	13	3	0	
	3	感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行している。	A	16	0	0	

食事	1	給食を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。	A	16	0	0	
	2	アレルギー疾患などを持つ子に対し主治医からの指示を得て適切な対応を行っている。	A	16	0	0	
環境	1	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ子どもが心地よく過ごせるように配慮している。	A	9	7	0	
	2	園内外の衛生面・安全面に配慮している。	A	11	5	0	
	3	園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしている。	A	11	5	0	
子育て支援	1	送迎の際の対話や連絡事項への記載など日常的な情報交換に加えて、別に機会を設けて相談に応じて個別懇談をしている。	A	14	2	0	
	2	家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて、関係職員に周知されている。	A	14	2	0	
	3	保育士は日常、保護者や子どもを注視し、虐待の予防や早期発見に努めている。	A	14	2	0	
	4	あらかじめ年間行事の目標を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている。	A	16	0	0	
地域との連携	1	地域の関係者機関などと連携を深めるようにしている。	B	5	11	0	
	2	ボランティア・体験保育の人々を積極的に受け入れている。	A	9	7	0	
開かれた 保育園作り	1	参観や授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解している。	B	6	10	0	
	2	園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信している。	A	16	0	0	
危機管理	1	避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施している。	A	14	2	0	
	2	緊急時、慌てずに対応できるように、医療機関の連絡先を表示している。	A	15	1	0	
	3	乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っている。	A	10	6	0	
守秘義務	1	子どもの個別記録は、個人情報保護法に基づき管理している。	A	15	1	0	
	2	保育業務で知り得た子どもの家庭に関する秘密の保持について全職員に周知し、守られている。	A	15	1	0	
園内外研修	1	各研修会・講習会への参加体制の充実を図っている。	A	14	2	0	
	2	研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育成に反映させている。	A	13	3	0	
組織運営	1	係や仕事の分担・役割は適切である。	A	14	2	0	職員(未満児会)などの話し合いは行っている。全体ではどうか？ ⇒全職員が一同に集まってる話し合いは様々な勤務形態や休みの都合上難しい。以上児会・未満児会では全員が発言できるようにしているが、その時には意見が少ないのが現状である。意見を聞いたり、話し合いの時間は随時持っている。
	2	職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を惜しみなく保育園の運営にかかわっている。	A	10	6	0	
	3	職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っている。	A	12	3	1	

|